

功德の基盤（ユンテン・シキユルマ）

1. 師事

あらゆる功德のもとになる恩深き大師に
正しく依存するのは修行道の根本であることを
よく見て、幾多の努力により
大いなる敬意を持って仕えることができるよう加持を与えてください

2. 有暇

ひとたび得た有暇の人間の良き生は
極めて得難く、意義の深いものであると知り
昼も夜も常に心髄を得る智慧が
耐えることなく生じるよう加持を与えてください

3. 無常

体と命が定まらないのは水疱のようなものであり
速やかに訪れる死を思い起こし

4. 業の因果

死後に体と影のように
白と黒の業の結果がついてくることを固く確信し
過失の集まりは微細なものに至るまで捨てて
善の集積はことごとく達成するよう常に心がけて
不放逸を具えることができるよう加持を与えてください
（不放逸とは悪を慎み、善を成すことに精進する心のことである）

5. 出離

受用をもって満たされず、あらゆる苦しみの門となる
依存するべきでない
世間の栄華の過失を知り
解脱の幸せを心から求める心が生じるよう加持を与えてください

6. 律義戒

清浄なる思いに導かれた
憶念と正知と不放逸によって
教えの根本である波羅提木叉の
修行の心髄を成し遂げられるよう加持を与えてください

7. 発菩提心

自分が輪廻の苦しみの海に堕ちたかのように
母なる一切有情も同様であると観想し
有情救済の重荷を背負う

最勝なる菩提心を修行することができるよう加持を与えてください

8. 菩薩戒

ただ菩提心を起こしたとしても三種の菩薩戒に修習しなければ
悟りを成就することはできないということをよく知って
仏陀の息子である菩薩の律義を
堅固な精進によって学ぶことができるよう加持を与えてください

9. 止と観

誤った対象に心を散乱させることを鎮め
正しい意味をよく観察することにより
止と観を双入させる修行の道を
心の連続体に速やかに生じることができるよう加持を与えてください

10. 金剛乘

顕教という共通の修行道に通じた器となったなら
あらゆる乗り物のうち最も勝れた金剛乘〔という密教を知り〕
恵まれた者たちが入る最も優れた門戸に
容易に入ることができるよう加持を与えてください

11. 三昧耶戒

その時、二種類の悉地を成就する根本である
清浄なる誓約と律義を守るため
作り出されたものではない本物の確信を見出して
命を賭けてでも守ることができるよう加持を与えてください

12. 修習

ここで、タントラの心髄である二次第の要点などを
あるがままに理解して精進により
最も優れた四座のヨーガ行を怠ることなく
よく説かれた教え通りに成就することができるよう加持を与えてください

13. 祈願

このように、善き修行道を示された上師（ラマ）と
正しく修行をなす友人たちが長寿をまっとうし
外と内の障りの集積を
直ちに取り除くことができるよう加持を与えてください

14. 廻向

すべての生涯において正しい上師（ラマ）と離れることなく
仏法の吉祥を享受して
十地と五つの修行道の功德をよく円満し

持金剛の境地に速やかにいたることができますように

【日本語試訳：マリア・リンチェン 2022年5月】